

# 市民俳歌柳壇

毎月20日で締め切り、締め切り日の翌々の広報うつのみやで入選作品を発表します。

特選

## 終戦日叔父の遺骨は石二つ

清原台1丁目 須藤 典子

●特選の選評 この句を目にした時、80年前の終戦の記憶がまざまざとよみがえった。紙一枚だけで、どこで戦死したのかも分からず、遺骨さえ戻らなかった人がどれほどいた事か。戦争とはなんと悲惨なことだろうか。二度と戦争をしてはならないと訴えるこの句に拍手を送りたい。

## 俳句



加茂都紀女先生

入選

## 緑蔭へ足早に入る乳母車

平瀬3丁目 伊藤 安

## 盆帰省そんな叱るな我が孫だ

清原台1丁目 六本木 孝道

## この髪の毛の別れ近づき髪洗ふ

築瀬4丁目 升也 幸子

## 空めざし走りだす風の風車

桜5丁目 遠藤 芳孝

特選

## 「一粒の米も大事に食べえだよ」 亡母の教えが解るこの頃

下田原町 和田 文男

●特選の選評 このまま、この通りで、今の米の値上がりにも通じる。「大事に食べえだよ」との言葉も暖かく、作者の体に染みついていなのだ。難しい言葉を使わなくても、誰にでも一つぐらいは心に染みる親の言葉を持つているから、胸の引き出しを開けて見てみよう。

## 短歌



藤本 都先生

入選

## うす紅の小花咲かせて山萩は 晩夏の風にそよぎはじめぬ

下岡本町 高尾 信尚

## 連日の猛暑に四季の感うすれ はや盆の風頬になつかし

長岡町 赤羽 スミ

## 先人も味わいしかと初秋の 風に吹かれてあずき坂行く

西2丁目 佐藤 順子

## 朝ドラを観終へてぬるき茶をすする 手持ち無沙汰の今日休刊日

清原台1丁目 三木 紋子

特選

## 傾きし遺影を正す終戦日

清原台6丁目 小太刀 節子

●特選の選評 今年の8月15日で終戦から80年になった。これからも戦後を積み重ねるために何を為すべきか、個々がそれぞれ考える日になって欲しい。改めて遺影のほこりを払い傾きを直し、手を合わせ不戦を誓い、平和を願う日にしたいものだ。

## 川柳



佐藤隆久先生

入選

## 黒揚羽一ひらに生きホバリング

岩曾町 川室 正男

## 貴方居る広くて狭いこの和室

西刑部町 佐藤 榮子

## 頭下げ安心させる稲穂波

鶴田町 西宮 久

## スペインでクレヨンしんちゃん大バズリ

日の出1丁目 大島 康正

### 俳歌柳壇の応募方法

- 1人各3句（首）以内。俳句・短歌・川柳の併記は不可。
- 対象は市内在住者で、未発表作品。年齢問わず応募できます。
- はがき表面＝住所・氏名・ふりがな・応募する壇名。
- はがき裏面＝作品（漢字にはふりがなも）・作品への思い。
- 毎月20日（消印有効）までに、〒320-8540市役所広報広聴課 ☎(632) 2028へ。
- WEBによる応募も受け付けます。詳しくは、市☎をご覧ください。

ID 1022877



▲市☎

表

裏

宇都宮市役所  
広報広聴課  
住所・氏名・壇名  
ふりがな

作品への思い  
作品への思い  
作品への思い